

あしたの日本を創る運動推進功労表彰受賞

6月26日(火)、東京都で開催された平成30年度生活学校・生活会議運動全国大会の席上で、養老町生活学校2班が「あしたの日本を創る運動推進功労表彰団体の部」を受賞しました。

この賞は、自律・自助の心に根ざし、生きがいと活力に満ちた希望のもてる地域社会の創造を目指すあしたの日本を創る運動を推進することにより、豊かで住みよいあしたの日本の建設に顕著な功績があった団体に贈られるものです。

代表の早崎百合子さんは受賞報告のため町長を訪問し、「これからも町民の方が豊かに生活をおくれるように励みたい」と語りました。



受賞の報告を行った代表の早崎百合子さん(中央右)と近藤とし江さん(中央左)、大杉ノブ子さん(左)



邪気を払う破魔矢を放つ修験者

養老の滝で安全祈願

7月1日(日)、町観光協会主催の「養老の滝開き式」が滝前広場で開催されました。この行事は、1924年に始まった伝統行事で、今年で92回目を迎えました。

式では、修験者が厄を払う破魔矢を放ち、観光シーズン中の観光客の安全を祈願したほか、護摩だきなどが行われ、観光客からは厳かな雰囲気味わっていました。

なお、養老公園一帯では、8月31日まで「納涼滝まつり」を開催し、各種イベントを予定しています。

養老の滝開き俳句大会作品

(養老町関係者のみ)

養老町長賞

安寧を祈る言の葉滝行者

安福 隆司

養老町議会賞

法螺の音のひときは高く滝祓ふ

松野 登志江

中日新聞社賞

滝音を聞いて育ちて老いにけり

大橋 正典

佳作賞

滝開き山伏まねて幼き子

中島 恵男

あやかりて孝子の滝をすくひけり

日比 貢

幼な児の杖はささ竹山清水

神田 まさ子

入選賞等

滝開き雅楽の余いん身を包む

野村 裕美子

万緑や滝堂山伏滝へ発つ

重金 正子

坂道をのばれば涼し滝開き

立川 よ志江

青梅雨や護摩供の火の色山の色

佐竹 義雄

この奥に山椒魚棲み滝祓ふ

重金 英男